あなたと議会を結ぶ
幸田町 議会だより

町の木　やまざくら
162号
2016.10.27 発行
愛知県幸田町議会
町の花　つばき

楽しみな給食（深溝小学校１年生）

- 9月定例会のあらまし …… 2
  （小学校給食用食器がPEN樹脂に）
- 平成27年度決算審議 …… 4
  （法人町民税大幅減収）
- 一般質問ズバリ 町政を問う …… 6
  （三河地震慰霊碑建立の考えはなど８議員が質問）
- 委員会レポート（協議会・行政視察） … 15
- 追跡（あの答弁はどうなったの） …… 19
- 住民の声を聞く・パート15 …… 20
  （知っていますか？幸田町生活学校）
- あい・らぶ・マイタウン …… 22
  「ぼくが好きな幸田町」「自分の一票を大切にするために」

「手を合わせてください」「いただきます」（深溝小学校５年生）

小学校の給食用食器にPEN樹脂

9月定例会のあらまし

9月定例会は、9月1日に招集され、9月28日までの28日間の会期で開かれました。

財政健全化判断比率の報告1件、教育委員の任命など人事案件2件、税条例の一部改正など単行議案3件、補正予算5件。平成27年度決算認定9会計の議案が上程され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

そのほか、陳情4件を審議し、2件を採択、2件を不採択としました。議員提出議案2件が提案され、可決しました。

一般質問は、8人が町政全般にわたる課題をただしました。

財産の取得

小学校の給食用食器を、従来の強化磁器製からPEN樹脂製食器に変更して、破損の減少と軽量化を図る。

飯椀・汁椀・角仕切皿を各3000枚購入する。

契約金額　967万7880円

契約方法　8社の指名競争入札

契約の相手方　丸天産業㈱（豊橋市）

納期　平成28年12月26日まで

Q 衛生上の安全性は。

A 食品衛生法および添加物などの規格規準に適合している。

Q 使用耐用年数は。

A 5年から7年（メーカー確認）。

（反対3賛成12で可決）

食器のキャラクターは継続されます
PEN（ポリエチレンナフタレート）樹脂

町税条例等の一部改正

所得税・住民税の医療費控除の5年間特例措置

Q 制度の内容は。

A 薬局で購入する市販薬も対象となる。

Q 住民への周知は。

A 広報12月号でお知らせする。

（反対1賛成14で可決）

一般会計補正予算

好調のふるさと納税

3億2158万円増額

4億円規模に

主な事業（歳出）

ふるさと寄附業務委託料
1億9500万円

Q 寄附金（納税）の申込み状況と見込みは。

A 平成28年5月に返礼品を開始して、8月31日現在1835件で7588万円。年末までに総額4億円が想定できる。

Q 寄附金の内訳は。

A 返礼品が50%。主に楽天へ支払う手数料が15%。町の税収入になるのは35%。

自動走行関連技術新産業創生調査検討業務委託料
600万円

Q 国の新型交付金300万円と、企業協力金300万円の使途は。

A 一般道の自動走行、3D地図の開発、農業の技術活用など。

介護ロボット等導入支援事業補助金（国費）
92万7000円

Q 事業内容は。

A ベッドからの転落防止センサー付機器を「まどかの郷」に3台導入。

生活道路等整備工事費
4000万円
地元要望が強い緊急性・重要性があるものを実施。

教育施設整備基金積立金
5000万円
（全員賛成で可決）

人事案件

固定資産評価審査委員
本多　幸夫（ゆきお）氏（新田区）
（全員賛成で同意）

教育委員
平松　敏明（としあき）氏（横落区）
髙橋　文代（ふみよ）氏（里　区）
（全員賛成で同意）

議員提出議案

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
（反対1賛成14で可決）

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
（反対1賛成14で可決）

平成28年度幸田町一般会計・特別会計　9月補正予算と採決結果

会計名		補正額	補正後の額	採決
一般会計	（第3号）	3億2158万円	146億6131万円	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険	5357万円	38億4996万円	全員賛成で可決
	介護保険	1238万円	18億4786万円	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	財源更生（0）	3億7638万円	全員賛成で可決
	下水道事業	1500万円	7億6247万円	全員賛成で可決

陳　情

○私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書
陳情者　武石幸一
（反対 13 賛成 2 で不採択）

○愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者　武石幸一
（反対 13 賛成 2 で不採択）

○国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者　武石幸一
（反対 1 賛成 14 で採択）

○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
陳情者　幸田町教員組合　執行委員長　小林　淳
（反対 1 賛成 14 で採択）

平成27年度 決算

法人町民税大幅減収 16億円借り入れ

今定例会は、平成27年度の決算を審議するため、決算特別委員会を設置し、一般会計、特別会計、水道事業会計を慎重に審議した結果、原案どおり認定しました。

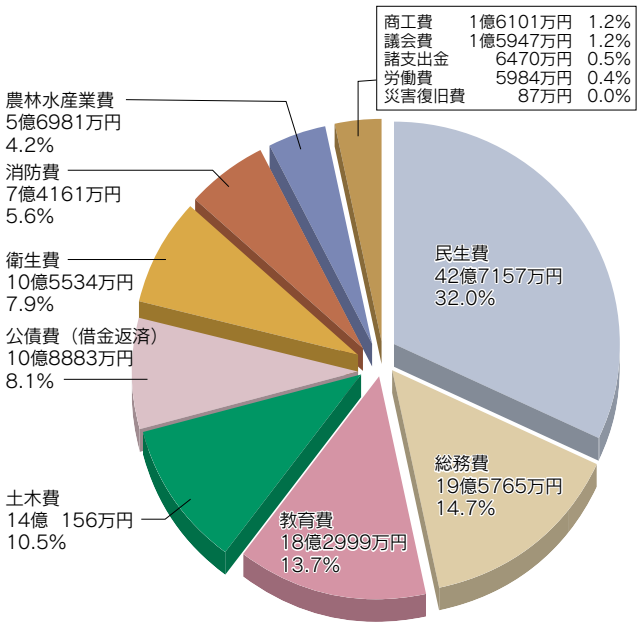
歳入は、納税義務者数の増加などで個人町民税は増収。法人町民税は大手企業の納付額が大幅に減少したことや法人税割の税率が引き下げられたことにより、前年度比15億4093万円の減収となりました。そのため、減収補てん債16億円を借り入れ、一般会計歳入総額は前年度比6億3880万円の増額となりました。

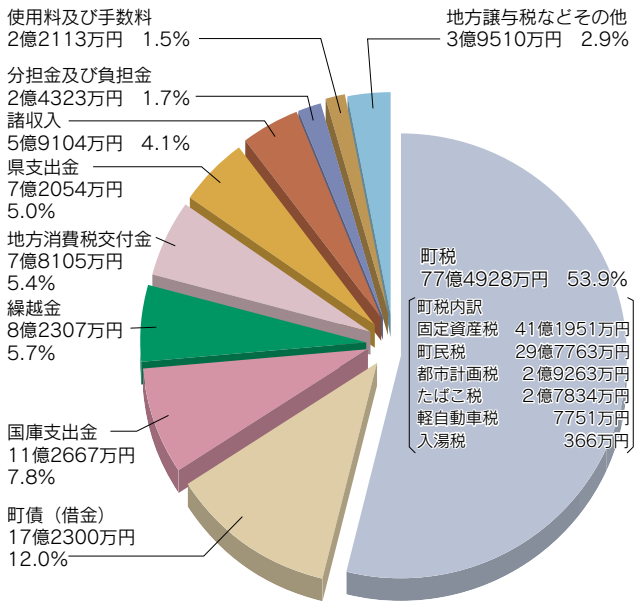
歳出では、橋梁修繕、太陽光発電設備、町営住宅外壁断熱化、町道長嶺1号線舗装、消防救急無線デジタル化、生活道路整備、幸田駅西駐車場用地取得などの事業が実施されました。

なお、平成27年度の決算総額は、一般会計（円グラフのとおり）と特別会計を合わせて、歳入215億2153万円、歳出203億1067万円で、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、11億5303万円の黒字となりました。

一般会計の決算額

歳出 133億6224万円　　**歳入** 143億7411万円





採決（反対2：賛成13で認定）

平成27年度決算審査意見書

監査委員　山下　力
　　池田　久男

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成27年度決算では、法人町民税の減収など、町税全体で大幅な減収となった。歳入全体としては増収となり、単年度財政力指数等は、財政の健全性が向上しているように示しているが、減収補てん債を起債した影響が大きく、自主財源比率は大幅に下降した。

今後は行財政運営に関して、予断を許さない状況が続くものと見込まれる。限られた財源を有効に活用し、事務事業の効率化や行財政運営手法の見直しなど、住民福祉の向上と持続可能なまちづくりに、一層努力されることを望むものである。

2日間にわたり集中審議

主な質疑

Q 経常収支比率が下がった要因は。

A 税収大幅減のため16億円借金し財源を確保した。

Q 未登記処理の進捗は。

A 全体3085件中の処理不能を除き994件残っている。

Q 借地解消を。

A 解消に向け既存施設の移転含め検討する。

Q 幸田保育園の大規模改修は。

A 平成29年度に実施の方向で予算要求をしていく。

Q 国民健康保険税で資産割の廃止の考えは。

A 平成30年度の県統一化までは現状維持で。

Q 職員の資質向上を。

A 住民満足度の向上にむけた研修を実施していく。

Q 保育料金の多子減免制度の拡充は。

A 平成28年4月から年収360万円以下、ひとり親家庭の減免を拡充した。

Q 中学生の海外派遣を取りやめたが、今後は。

A 情勢を注視し、生徒の安全を最優先に判断。

Q イノシシの被害が拡大しているが、現状は。

A 捕獲頭数からすると、減少はしていない。

Q 少人数学級の実現を。

A 少人数指導教員の加配により対応していく。

Q ふれあい農園の拡大は。

A 他にも良い場所がないか拡大の方向で検討したい。

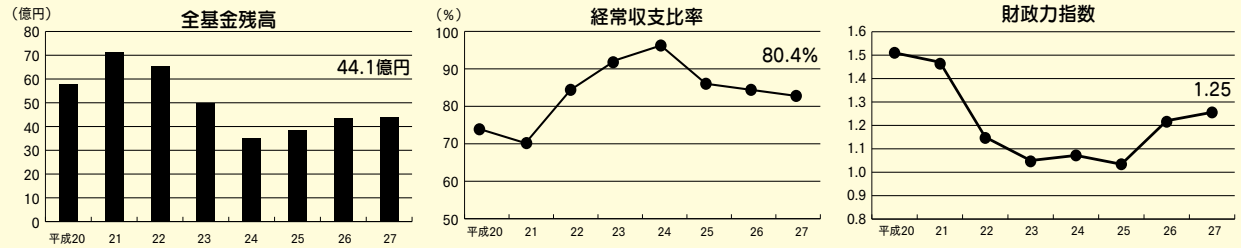
Q 生涯学習ガイドブックの印刷費が高額では。

A 競争見積りにより経費の削減を図っている。

主な事業成果

橋梁修繕工事（倉添橋他）　6439万円
太陽光発電設置（幸田・南部中学校）　4892万円
町営住宅外壁断熱整備（神山・深溝住宅）　3628万円
町道長嶺1号線舗装　3577万円
消防救急無線デジタル化整備　1億2420万円
幸田駅西駐車場用地取得　2053万円
斎場建設負担金　4280万円

主な財政指数の推移



賛成

安心できる決算

杉浦あきら 議員

町税が15・5億円も大幅減少する中、社会福祉、児童福祉、健康増進事業や、各施設の長寿命化や修繕、太陽光発電の設置など、子育てや防災の面で充実が図られた。厳しい財政状況の中、町民の安心、安全、健康に留意した財政バランスであり、「愛と幸せのある　安心して暮らせるまち」を実現するための決算であった。

討論

反対

くらし、福祉を支援する町政に

丸山千代子 議員

税収不足として16億円の借金しながら9億7200万円の黒字。一方、基金は41億6677万円積み立てた。

法人町民税の一部国税化の影響は大きい。制限税率まで引き上げ自主財源確保を。マイナンバーは社会保障切り捨てになり反対だ。

貧困と格差社会の拡大で住民の暮らしを直撃している。

営業や福祉、教育を支援する町政を。

反対

日々低下し続ける大須賀町政

伊藤宗次 議員

財政規律強調し年度末16億円借金で豹変。

都市計画税は矛盾税制。計画的廃止を。

保育料基準見直し、引き下げ。多子減免に制限設けず子育て支援を。

借地13万㎡余。借地料4673万円余。借地解消を。

安定した人口増の町へ。定住化支援を。

中学生海外派遣中止で500万円。修学旅行費保護者負担軽減に。

町長が横取り狙っている。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名			歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得		3187万円	3187万円	全員賛成で認定
	国民健康保険		37億1564万円	36億　856万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療		3億2904万円	3億2807万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険		16億1541万円	15億6225万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整理事業		3億3289万円	3億1489万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業		3億8415万円	3億7520万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業		7億3844万円	7億2761万円	反対2：賛成13で認定
企業会計（税抜き）	水道事業会計	収益的収支	7億6860万円	6億3116万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支	1億3785万円	4億1169万円	

一般質問

「これを聞きたい　これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

ズバリ直言

8議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

質問者	件　名	頁
中根　久治	1 三河地震慰霊碑建立の考えは 2 1秒でも早くできるか救急車 3 参議院選挙の投票率と投票所について	7
伊藤　宗次	1 18歳まで医療費無料化拡大を 2 施政方針はコトバアソビだ	8
大嶽　弘	1 遊休農地の農業公園構想は 2 総合体育館建設用地の選定は	9
志賀　恒男	1 成年後見センターの設立は 2 親のポケモンGOへの対応は	10
伊與田伸吾	1 生徒の学習環境どう整備する 2 学生消防団活動認証制度導入を 3 コミュニティ助成と区長報酬算定の見直し	11
稲吉　照夫	1 深溝運動公園防球ネットの改善を 2 仲田ガード 歩行者の安全を	12
水野千代子	1 国土強靭化地域計画の策定を 2 教員にゲートキーパー研修を	13
丸山千代子	1 サービス抑制しない総合事業を 2 北部中学校増築なぜプレハブか	14

※ 質問の内容は2件までを掲載しています。

一般質問

中根 久治 議員

問 三河地震慰霊碑建立の考えは

答 つくる考えはない

三河地震に襲われた蒲郡や西尾・安城には、亡くなられた方々を弔うために数多くの慰霊碑が建立されている。幸田町には存在しない。地区の防災意識の共有化にも役立つ震災慰霊碑の建立を問う。

問 町内の犠牲者の地区別の内訳、震災の記録誌の作成の用意は。

答 教育部長 正確な数の把握は難しいが、調査結果では豊坂村の死者7人、負傷者36人、幸田村の死者25人、負傷者18人。

平成27年に「愛知県指定天然記念物三河地震による地震断層」の冊子を全戸配布した。

問 震災慰霊碑の建立の考えは。

答 深溝断層のところにある石碑だけだが、現状では慰霊碑をつくる考えはない。

西尾市津平（つのひら）の追憶の碑

問 犠牲者を弔い、自然災害に備えることを誓う心の部分をどうするか。

答 自治体で碑をつくることはできない。地域で慰霊碑建立の機運の醸成にまかせたい。

問 一秒でも早くできるか救急車

答 トランシーバーで連絡とり短縮

現在、町は広域消防の充実に取り組んでいる。それは可とするも、4万人強の住民、とりわけ、消防本部から遠い人々の救命・救急体制の構築こそ喫緊の課題だ。

問 救急車の分駐化以外に町民の命を守る手段とはなにか。

答 消防長 毎年50人位の心肺停止がある。電話による心臓マッサージの口頭指導など、早期の応急処置の実施が必要と考えている。心肺蘇生発生から救命率は3、4分を考慮すると50%の確率。

問 救急車の分駐化以外に1秒でも早く救急車の現場到着所要時間の短縮を図る手段とはなにか。

答 救急隊員とトランシーバーで連絡とり、場所確認の情報共有、道路情報と走行ルート、現場不明時検索など所要時間の短縮をしている。

問 消防職員の使命感は高いと評価したい。それに応えるためにも署内に検討チームを立ち上げてはどうか。

答 消防署の整備や人口増加、地域性など検討チームを考えたい。

そのほかの質問項目

- 参議院選挙の投票率と投票所について

伊藤 宗次 議員

問 18歳まで医療費無料化拡大を

答 現在は検討していない

問 子ども医療費無料化拡大してきた経過は。

答 健康福祉部長 国の補助金制度がない中、0歳、3歳、就学前と拡大してきた。

現在は、中学生まで無料化を実施。

問 保険医協会実態調査、「経済的理由による受診中断があった」の調査結果は。

答 町の中学生段階までの実態は無いと理解している。

問 町は、格差と貧困の広がり、受診中断の実態調査を。

答 厚労省は調査を本格化の方針。

町としても検討を考えたい。

問 18歳まで拡大した場合の影響額、人数は。

答 医療費が年間に約2500万円増。約1200人増。

18歳までの拡大は、現在検討していない。

問 どのような家庭に生まれても医療が受けられるようにすべきだ。

答 施策の中で反映したい。

問 町長施政方針、「多世代に心地よい」だが、施策の取り組みは。

答 町長 子育て世代から高齢者世代のみんなが安心して集える場づくり。

問 「1億総活躍社会」で新型交付金で、地方の取り組み支援すると。無料化拡大で活用すべきだ。

答 内容をよく調査したい。

役場から南方面を眺む

問 施政方針はコトバのアソビだ

答 先を見てまちづくりに努めたい

問 そもそも施政方針とはなんですか。

答 町長 町政に対する基本的な考え方や予算案、重要な施策を述べるもの。

問 施政方針のトップ見出しで、「多世代に心地よい」とは、何を称しての心地よいなのか。

答 子育ての充実した体制づくり、高齢者がのんびり過ごせる体制づくりを意味として掲げた。

問 誰に対しての、「なめらか」なのか。

答 全世代の町民。

問 行政が評論家・解説員であってはならない。

答 地域の要望が何か。みんなの声を聞き、行政に反映していきたい。

問 あれこれ事業をあげられたが、それが心地よく、なめらかなのか。

答 事業をすすめる中で、地域間・世代間において隔たりのないまちを目指していくことである。

問 町民にしては、上から目線でものを言う町政だと。

答 施政方針のとおり、行政推進に努めたい。

問 活字あって中身なし。文章あって意味不明で、活字が独り歩きし、コトバのアソビの施政方針ではないか。

答 単年度でできることでもない。先を見てまちづくりに努めたい。

大嶽 弘 議員

問 遊休農地の農業公園構想は

答 現在 構想はない

名もなき池 通称「モネの池」（岐阜県関市）

岐阜県関市に名もなき池、通称「モネの池」がある。この池は、宣伝なしで格別の集客力をもっている。
本町の遊休農地を資源とした活用策を問う。

問 町内の遊休農地面積は。

答 環境経済部長 田は2万6473㎡、畑は3万4277㎡、合計6万7050㎡。

問 今後の利用に関する所有者調査は。

答 農地耕作意識をうながし、遊休農地解消を図るための利用意向調査。

問 県の農地対策の事業メニューは。

答 「イート・モア・アイチ・プロダクツ」という地産地消の取り組み。

問 農業公園構想をどのように考えるか。

答 農家や担い手も比較的機能している。現在構想はない。

問 農業振興、観光事業など幸田町版の農地活用策を期待する。

答 遊休農地調査で適地があれば、農業体験や趣味の園芸の場を検討。

問 総合体育館建設の用地選定は

答 候補地は検討中

総合体育館建設が折に触れ話題となっている。

問 第6次総合計画への織り込みは。

答 教育部長 平成28年度スタート時には、建設に向けた具体的な表記はない。

問 総合体育館建設の候補地選定は。

答 ハッピネス・ヒル・幸田の南側調整区域を1つの候補地として検討中。

問 今後の税収展望は。

答 総務部長 右肩上がりの税収は望めなく、一層の減収見込み。

問 建設費用の捻出策は。

答 教育部長 教育施設整備基金、補助金・交付金の活用。PFIも考慮。

問 近隣市との広域、共同建設の考えは。

答 具体的構想はない。

問 複合施設として各種の活用が活性化になる。感想は。

答 各種団体など多くの意見を取り入れ、計画案を作成。

志賀 恒男 議員

問 成年後見センターの設立は
答 委託方式で平成29年度を予定

平成25年開設された蒲郡市成年後見センター

問 高齢者や障がい者の財産を守るための成年後見制度。今年の春、成年後見制度利用促進法が制定された。

答 成年後見支援の現状は。

問 健康福祉部長 町委託の相談支援事業所で、相談・手続きなどの説明支援。

問 相談件数の推移と傾向は。

答 18件で、相談・申立件数は増加傾向にある。

問 特別養護老人ホームでの利用と課題は。

答 3施設で9人が利用。課題は、金銭管理面。

問 成年後見センター設立の検討は。

答 平成28年度に設立準備し、社会福祉協議会への委託方式で平成29年度を予定。

問 設立に向けた構想、人員、スケジュールは。

答 町が方針を定め、規模・業務内容・人員配置などは今後調整。

問 周辺の市に比べ、成年後見制度への取り組みが遅れたのでは。

答 ニーズ量・専門職の配置・委託事業の財源などの問題で遅れた。

問 親のポケモンGOへの対応は
答 具体的事例をもとに研修

問 ポケモンGOが、5つのギネス世界記録に認定されるほどの人気。子どもたちへの影響が心配される。

問 内閣サイバーセキュリティセンターが「ポケモントレーナーのみなさんへのおねがい」を公表。町の対応は。

答 総務部長 町ホームページにて国・県とリンクし注意喚起。

広報10月号で特集を組む。

問 教育長のゲームに対する感想は。

答 教育長 家庭も地域もみんなで一緒に対応との思いがある。

問 小学生のスマホの使用実態は。

答 教育部長 平成27年度調査は25・8%で年々上昇。

問 中学生のスマホの使用実態は。

答 37・5%。最新の調査で49・6%の学校もある。

問 子どもへの課題・問題点は。

答 生活習慣の乱れが心配。ゲームは課金も含まれ、適切な指導が必要。

問 親へのポケモンGOへの対応は。

答 教育委員会はチラシで、PTAは利用ガイドラインで、学校は情報モラル研修を実施した。親には具体的事例をもとに研修。

一般質問

伊與田 伸吾 議員

問 生徒の学習環境どう整備する

答 学区関係者とも協議しすすめる

北部中学校は、生徒増で平成37年には776人と予測され、施設整備を問う。

問 5月1日現在の生徒数北中450人・幸中61人・南中234人であるが、1人あたりの運動場面積は。

答 教育部長 北部中学校が40・7㎡、幸田中学校が32・2㎡、南部中学校が55・8㎡。

問 平成37年の生徒数で割返した1人あたりの北中運動場面積は。文科省設置基準面積は。

答 23・6㎡となるが、文部科学省の設置基準には適合している。

問 運動場面積が、幸中の73%・南中の42%は学習環境の公平性を欠くもの。不足する校舎整備を含め、将来を担う生徒たちの学習環境をどう整備する。

答 平成28年度基本設計し、翌29年度に実施設計を予定。施設整備は、既存校舎の内部改造と増築を基本とし、生徒の移動・学校運営を考慮する。

体育館の床、生徒増加時の部活動運営も併せ検討していく。

町長 学校の教育環境をよくするため、教員・教育委員会・学区関係者とも協議しすすめていく。

どうする 北部中学校の学習環境

問 学生消防団活動認証制度導入を

答 各市町の導入後の状況を研究

地域防災の要として、長きに亘る伝統を維持し社会貢献されている消防団の今後あるべき姿を問う。

問 平成27年建物火災時の出動団員数は。

答 消防長 建物火災は5件あり、うち消防団要請は2件で計120人。

そのほかの質問項目

- 新入団員確保に苦慮と耳にするが現状をどう把握し、任期は。
- 確かに苦慮している。基本的には、区長・団員主体で勧誘とさまざまな地域性がある。

任期は団長・副団長が2年、分団長・副分団長・部長・班長は1年、ただし再任を妨げない。その他の団員の任期は定めがない。

- 町職員の入団者数と、大規模災害時はどちらの立場で動くのか。
- 公務員は36人で、幸田町の職員は25人。大災害時は、役場の業務が優先となる。それ以外の災害では、団員の判断に委ねている。
- 団員確保に向け、学生消防団活動認証制度導入や定年退職者参入の考えは。
- 各市町村の導入後の状況や県を研究して、消防団役員と検討する。
- コミュニティ助成と区長報酬算定の見直し

稲吉 照夫 議員

問 深溝運動公園防球ネット改善を

答 協会の意見など聞き検討する

深溝運動公園・大日陰グラウンドゴルフ場設置当初に比べ、使用者が増加している。安全確保と使い勝手の良さを求める。

問 深溝運動公園のワンパク広場・駐車場の安全確保のため、防球ネットの改善は。

答 教育部長 外周防球ネットの高さは10mあるが、ソフトボール協会などの意見を聞き検討する。

問 ワンパク広場の近くにトイレをなぜ設置しなかったか。

答 給排水の問題とグラウンド利用者の使いやすさを考えて、現在の位置となった。

問 ワンパク広場のテーブルセットの屋根改修を。

答 遮光ネットを縛り日よけとしているが、よりよい方向があれば考えたい。

問 大日陰グラウンドゴルフ場のトイレ改善を。

答 大会時には、臨時の仮設トイレを設置するが、抜本的な解決は難しい。

問 散水用配管設備を使用できるように。

答 カヶ池から送水をしており、池の貯水量が減った事が原因である。

問 グラウンドゴルフ場使用料の見直しは。

答 値上げは慎重に考える。

深溝運動公園のワンパク広場

問 仲田ガード 歩行者の安全対策を

答 路面・壁面のカラー化を考える

スーパーオオクワが開業して、仲田ガードを利用する歩行者が増えた。安心して通行できる対策が必要だ。

問 開業して5ヵ月ほど経つが、安全対策は。

答 建設部長 狭小な道の安全を様々検討してきた。抜本的な解決が難しいということで、幸田駅前広場の基本計画を提示している。

問 ガード下路面が常に濡れている。改善は。

答 湧水誘導槽の清掃と側溝など修繕。水中ポンプの水位を下げてみる工夫もしていく。

問 芦谷高力線からの階段の壁側に手すりの設置は。

答 手すりができるようにしていきたい。

問 階段降り口から、ガードを通り抜けるまでの歩行者の安全対策は。

答 歩きやすいように側溝部分のフラット化、路面・壁面のカラー化など考える。

問 JRを挟んで東西の通行の利便性が、発展の基と考えるが。

答 努力していく。

水野 千代子 議員

問 国土強靭化地域計画の策定を

答 事業継続計画を優先し検討する

問 発災後、住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、り災証明書の発行、支援金の交付など、公正公平で迅速な生活再建支援をしていくために、被災者支援システムの導入を。

答 総務部長 被災者支援システムは多額の費用がかかる。当面は、内閣府の被災者台帳の様式を参考にして、発災時の円滑な支援活動を実現するため研究していく。

問 国の国土強靭化基本計画に基づき、愛知県は平成27年8月「国土強靭化地域計画」を策定している。内容と県内の現況は。

答 愛知県の地域特性などの分析、地域の強靭化と活性化の調和、県内の脆弱性の評価、推進施策。名古屋・田原市が策定。

問 本町の脆弱性を事前に分析・評価し、その対応策と解決のため「国土強靭化地域計画」の策定を。

答 発災時に早急に必要となる事業継続計画を優先課題とし、事前防災・減災に引き続き努め、国土強靭化地域計画は検討。

問 教員にゲートキーパー研修を

答 教員の資質向上で取り組む

問 9月10日から9月16日まで自殺予防週間である。全国の自殺者数は減少傾向にある。国・県・町の現況は。

答 健康福祉部長 平成26年度は全国で2万4417人、愛知県1296人、町4人。

問 自殺者数は交通事故死者数の6倍強である。相談体制、啓発は。

答 福祉課、社会福祉協議会、包括支援センター、民生児童委員が随時受け付けている。年に1回、西尾保健所と共同でJR幸田駅で自殺予防キャンペーンを実施。

問 さいたま市は、自殺予防に向け全中学校教員にゲートキーパー研修をしている。「子どもたちの命の門番」として初期の対応・支援ができるように教員の研修を。

答 教育部長 教員の資質向上でゲートキーパー養成の観点も取り組んでいく。

問 ゲートキーパー手帳の活用、町ホームページ・フェイスブックで自殺予防の啓発を。

答 「気づいて寄り添いつながる命」の冊子を中学生と保護者に配布した。手帳の配布も前向きに考えたい。

誰でもゲートキーパー手帳（内閣府）

問 サービス抑制しない総合事業を
答 現行と同等のサービスを目指す

丸山 千代子 議員

介護保険の改定で、平成29年4月から要支援1・2のサービスを介護保険から外し、町の総合事業となる。これまで通り、専門的なサービスの提供を問う。

問 これまで準備をすすめてきた経過を。

答 健康福祉部長 ボランティアや地域、民生委員などの組織づくり。ボランティアの養成。

問 国がガイドラインで多様化するサービスを示しているが、町の考えは。

答 社会資源の活用や特殊化によるサービスの取り組みなど、市町村独自にできるが、まだ具体化できていない。

問 総合事業は上限があるが、サービス提供できるか。

答 上限を超える場合は、個別に判断する枠組みを設ける。

問 チェックリストでふるいわけせず、認定申請は本人の意向にそうべきだ。

答 利用者の希望に合わせた形で、チェックリストを使ってサービスを考えていく。

問 サービス抑制、切り捨てにならない総合事業の取り組みを。

答 利用者が現行と差異を感じないサービスの提供を目指す。

問 北部中学校増築なぜプレハブか
答 借地上の建築で選択肢の1つ

北部中学校は生徒数の増加で増築がせまられている。

体育館の床改修は長年の課題であり、今後の計画を問う。

問 生徒数の推移と不足する教室の見込みは。

答 教育部長 平成28年5月1日現在、450人15クラス。平成32年4月時593人、19クラス。配置可能教室で1教室不足。

増築が待たれる北部中学校

問 試案による増築の予算額は。

答 今の段階では不明。

問 北部中学校建設準備委員会に、増築校舎はプレハブ建物を検討中とあるが。

答 借地上に建築する状況下に置かれた時、軽量鉄骨でという1つの検討案。

問 20年間の耐用年数が確保できるプレハブ校舎でよいとする考えがなぜできる。

答 プレハブありきではなく、選択肢の1つ。

問 中学校は地域の防災拠点。教育施設の環境整備に財政の切り捨てをすべきでない。

答 地域の防災拠点の考え方、子どもたちのことを思いやり、総合的に考えすすめたい。

児童クラブ 使用料見直し検討

福祉産業建設常任委員会

8月9日　協議会開催

放課後児童健全育成事業は小学校の全学年対象を目標に整備をすすめ、適正な保護者負担の見直しを検討している。

Q 児童クラブの現状は。

A 6学区12クラブあり。利用者は、7月20日現在651人。

Q 低所得者層の減免の考えは。

A ひとり親世帯などの減免は考える。

Q 見直しは、分かりやすい取り組みにすべき。

A 指摘を踏まえ検討。

放課後を過ごす児童クラブ（中央小学校）

集落排水と下水道の使用料見直し検討

改正から6年を経過する使用料を適正な原価をもとに健全な地方公営企業運営を確保するため、見直しを検討している。

Q 見直しの時期は。

A 集落排水接続との関連もあり、実情調査後に。

Q 集落排水の安価な維持管理の手法は。

A 下水道区域と隣接する集落排水の統合。

Q 接続早くならないか。

A 町内13地区に集落排水あり、どの地区が可能か、県・関係市とも協議する。

ロボット技術導入 実証事業視察

7月13日から15日まで北海道石狩郡当別町、北広島市、千歳市、恵庭市を視察。

◆当別町

実証事業は、GPSを活用し、トラクターなどの正確な位置を把握運行ガイドするシステムで、自動運転、作業完了範囲、履歴データを管理する取り組みを視察。

農業の先端例として取り組まれ、作業時間、人件費、生産コストの削減に効果をあげられていた。

共生型地域福祉事業は地域福祉の拠点として、情報を集約し、障がい者・高齢者・子どもに対し一体的なサービス提供の場を整備し、多様な福祉活動支援の取り組みがされていた。

◆北広島市

下水道処理センター

下水・生ごみ・し尿など浄化槽汚泥を3種混合処理し、発生するメタンガスを乾燥燃料に活用。発酵残渣は肥料として農地に還元。

◆千歳市

サケのふる里水族館が隣接する道の駅「サーモンパーク千歳」を視察。

◆恵庭市

ウォーターガーデン・多目的広場併設の道の駅「花ロードえにわ」を視察。

自動走行するトラクター（当別町）

岡崎市と消防指令センター供用

総務教育常任委員会

8月16日　協議会開催

119番通報の受信から出動までを、迅速、確実に対応するため、幸田町と岡崎市で消防指令業務を共同運用する計画。

Q 消防指令システムの設置場所は。

A 岡崎市消防本部内に設置する高機能消防指令センター。

Q 共同運用のメリットは。

A 施設整備費用の軽減（3000万円）、指令業務人員の削減（6人を4人に）、現場到着時間の短縮など。

Q 供用開始の時期は。

A 平成30年4月1日から。

共同運用する岡崎市消防指令センター

島原市への交流訪問

Q 訪問日程の概要は。

A 11月6日は、歓迎式（島原城）と交流会。
11月7日は、雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼と見送り式など。

Q 一般参加40人の応募状況は。（応募締切は8月26日）

A 8月15日現在で41人。

Q 今後の交流は。

A 姉妹都市提携を視野に入れ、交流事業を推進。

逃げ遅れゼロをめざす防災計画

防災・減災対策特別委員会

8月8日　協議会開催

近年、想定を超える浸水被害が多発していることから、平成27年に水防法が改正された。
矢作川洪水浸水想定区域図の公表と一級河川広田川の避難判断水位見直しなど協議した。

Q 詳しい区域図はあるか。

A 豊橋河川事務所にある。

Q 氾濫浸水対策は。

A 堤防の強化、狭窄部（きょうさくぶ）などの改修。

Q 「想定外の氾濫」というだけで説明したことになるか。

A 逃げ遅れゼロをめざす。

木造住宅の耐震化状況

Q 耐震性のない住宅の除却、建てかえに対する補助制度がある。

A 推計で約2930戸。

Q 耐震の必要のある戸数は。

A 除却補助の状況は。

Q 今年度は現在1件。

A 耐震シェルターの必要経費は。

Q 現在8種類の補助対象シェルターがあり、製品によって値段に差がある。

町民参加の総合防災訓練

三ケ根駅前の水路整備すすむ

幸田・三ケ根駅前整備特別委員会

8月5日　調査会開催

平成27年度は、国道23号から深溝駐在所までの区間30・8mをボックス化。

Q 平成28年度施工計画は。

A JR線路側までの区間31・7mのボックス化を予定。

国道23号三ケ根駅前右折車線設置計画

Q 右折帯を設けると歩道がなくなるが、危険ではないか。

A 県への要望の中に、歩道の確保も含めて提案していく。

ボックス化が予定される水路

幸田駅前区画整理事業

4街区の面積は、412・21㎡。内、西尾信用金庫の店舗・駐車スペースが1203・67㎡の計画案が示された。

Q 地権者会議の開催が少ないと思えるが。

A 前年度は、2回の全体説明会に臨み、提案をしてきた。今後は進捗状況に基づいて回数を増したい。

Q 芦谷高力線の道路幅は。

A 駅前は18m。仲田ガード方面へは16mで計画。

都市再生整備など先進地視察

7月20日から22日まで富山県氷見市、長野県小諸市、塩尻市、岐阜県多治見市を視察

◆氷見市駅周辺整備、商店街の活性化対策

JR氷見駅（終着駅）の玄関口を平成27年に、すべて氷見産の杉材で新装。

まち中に「忍者ハットリくん」「怪物くん」などの藤子不二雄Ⓐのモニュメントを置き、観光客の増加につなげていた。

◆小諸市庁舎敷地一帯の再構築

新しく市庁舎、図書館、コミュニティなどの複合施設、駐車場、公園など配置。小諸厚生総合病院を平成29年に建設して、コンパクトシティ5年計画が完了する。

◆塩尻市市民交流センター（えんぱーく）

平成22年7月にオープンの図書館を中心とする複合施設。地上5階建の三方がガラス張りで、どこにいても明るく開放感があふれていた。

◆多治見市都市再生整備計画

駅北区画整理は、駅北市庁舎と広場が完成しており、新たに南北100mを自由通路で結び橋上駅にしたことで、この先、まちの賑わいを感じる駅前として期待される。

忍者ハットリくんの電車（JR氷見駅）

無人走行自動車は農道が難点

地方創生特別委員会

8月2日　協議会開催

幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年から31年）の中間目標値の達成状況および総合戦略推進委員会開催結果を協議。

Q 中間目標成果の住民周知は。

A 議事録を町のホームページに公表する。

Q 民間企業による新産業創出の動きは。

A フタバ産業の炭酸ガス貯留による温室暖房装置開発がある。

Q 町内の無人自動走行実験からの課題は。

A 道路周辺に建物がない農村道路や雨天の場合に処理する反応が遅れる。

企業立地の状況

須美南山は、企業庁開発で継続。須美東山は、民間企業進出を予定し協議会は解散。久保田凧山は、県外の農業法人が進出を計画。野場松ノ本は、10月に造成工事予定。桐山・上六栗は、開発面積拡大のための事務手続き中。

Q 須美東山の今後は。

A 地元関係者、コンサルタントで調整される。

Q 久保田凧山は、農業法人進出でよいか。

A 地権者は、了解している。

無人走行自動車実験の説明

つくば国際戦略特区を視察

6月30日から7月1日まで　茨城県つくば市など視察

◆つくば市

つくば国際戦略総合特区は、科学技術の集積を活用したライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進を目的に筑波大学などとの産官学連携で特区の指定を受けている。

特徴は、国などの機関が29、民間含め160以上で、研究者1万5000人の大規模で形成されている。

ライフイノベーションでは、次世代がん治療やロボット開発、グリーンイノベーションでは、藻類バイオマス、ナノテクノロジーの研究がされている。

◆筑波大学

小林正美准教授の研究室を訪問。

筑波大学小林正美准教授の研究室

同准教授は、将来の科学者をめざす児童生徒育成のため理科実験のおもしろ教室を開催している。

◆サイエンスつくば

この施設では、1890年に導入された測量器（m・kg）など100年を超える技術革新の成果や世界最先端の技術が紹介されている。

表紙写真の紹介

小学校の給食用食器をＰＥＮ樹脂製に変更するのを機会に、深溝小学校の配膳の様子を、議会広報特別委員会全員で撮影取材しました。

議会広報の編集技術を学ぶ

議会広報特別委員会

平成28年度愛知県町村議会広報研修会

7月29日、アイリス愛知で開催された。

議会広報サポータの芳野政明氏による「議会広報の基本と編集技術」の講演とクリニックがおこなわれた。

本町の議会広報は「内容・技術とも全国トップレベル」との評価を受けた。

今後も「住民に読まれ、議会活動が伝わる」広報紙の編集をめざしていきたい。

アイリス愛知で研修会

一般質問その後 追跡

あの答弁はどうなったの！

平成27年9月定例会

水野 千代子 議員

健康マイレージ事業の導入を

問 「健康の町宣言」「こうた健康の日」を制定している本町である。「健康マイレージ事業」の早期導入を。

答 早期実現に向け検討する。

その後 幸田町は、平成28年7月から町内在住の20歳以上の方を対象に事業を開始。

今年度のカードの交付申請は、9月から来年1月末日まで。カードを取得すれば、記念品抽選会にも参加できる。

※健康マイレージ事業とは、健康に関する取組みをおこない、一定以上の健康マイレージポイントを獲得した方に、県内で利用できる特典カードが交付される制度。

健康マイレージ始まる

ふれ愛・支え愛

幸田町生活学校

運営委員長
山﨑　寿子

生活学校とは

地域や暮らしの問題を学び、行政・企業・団体と連携し調査、解決して住みよい地域づくりに取り組み活動する団体で、全国に組織されています。

幸田町生活学校は、平成2年に設立され、現在会員は35人です。

今まで、ごみの分別、レジ袋削減、高齢者福祉などに取り組み、新たに介護保険、地域包括ケアシステムの学習や介護施設見学の取り組みも始めました。

主な活動を紹介します。

チャリティーライブ出演者と学校生

ふれあいいきいきサロン

70歳以上の高齢者を対象に、毎週金曜日の午前中、芦谷公民館で平成9年から開催しています。

きっかけは、学習会や住民アンケート結果により、家庭的な雰囲気で高齢者が集える場所が必要との思いからモデルケースとして開設しました。

参加は自由で、参加費は200円です。

うたごえ喫茶

第4回うたごえ喫茶を芦谷公民館で開催しました。

参加した2人の感想は、「生演奏により、懐かしい歌を参加者全員で歌い、一曲終わるたびに拍手と笑顔があふれ、楽しい時が、あっという間に過ぎました。男性が少なかったことが、少し残念でした。」

「歌は脳の活性化、認知症予防になります。歌って笑って大いに楽しみました。」とのこと。

これからも、世代の違う人々が一緒に集い、楽しみ、学ぶことで、人との絆を築く身近な場所としたい。

もっと身近な議会に

住民の声を聞く パート15

出会い・知っていますか？

研修見学会

平成27年度は、「防災と減災」をテーマに、静岡県防災センターを見学し、「今この瞬間、災害が起こったらどうするか。自分の行動をシミュレーションしておくことが必要。」と痛感しました。

チャリティーライブ

平成23年度開催した日和音（ひよりね）ミニコンサートの折に手がけた東日本大震災義援金がきっかけとなり、毎年、チャリティーライブを開催し、義援金活動を展開。

27年度は、津軽三味線と語りのライブを、28年度は、和太鼓とアルパのライブを開催し、大変盛り上がりました。

消費者講座

消費者にとって身近な問題をテーマに講師を招き、毎年町民会館で開催しています。

参加は自由で、参加費は無料です。

出前喫茶カメリア

ボランティア活動として、毎月第3木曜日に、まどかの郷で開催しています。

テーブルに季節の花を飾り、お菓子とコーヒー・抹茶で和やかなひと時を過ごしていただきます。

出前喫茶でひと時

学校生の募集

準備など大変と感じることもありますが、参加された方が、楽しかった。良かったよ。と言って下さると次も良い企画をしようと思います。

一緒に学び、楽しい企画をしませんか。

年会費　2000円

申し込み　山崎寿子

電話　62―7002

●アンケート結果●

生活学校の魅力は
・日常生活で分からないことや疑問に思うことを学習会や見学会で学び、生活に役立てられる。

入校してよかったことは
・いろんな方と知りあえた。
・ボランティア参加で、いろいろ体験でき、消費者としての視野が広がった。

議会だよりを見てますか
・毎号中まで見る（6人）
・時々中まで見る（6人）

良い点、悪い点は
・見やすくなった。
・各議員の考えていることなどがわかる。
・町の動きがよくわかる。

興味・改善点は
・環境に関する記事に興味。
・質問後の進展を記事に。
・もう少しくだけて読む人を引きつける面も。

議会傍聴の感想は
・町をよりよくするために活動していることが分かり、よかった。
・つまらなかった。

議会への要望、意見は
・前もってホームページに質問項目の掲載を。
・質問事項が自己中心的にならないよう吟味を。

取材協力に対し、お礼申し上げます。

あい・らぶ・マイタウン

中央小学校6年
藤井凱也（ふじいよしなり）くん

幸田中学校2年
星野日和（ほしのひより）さん

ぼくが好きな幸田町

ぼくが、幸田町を好きなわけ。それは、町に住む人にとても思いやりがあると感じるからです。

朝、家から出ると、散歩している人や、通りすがりの人が、「いってらっしゃい。」と言ってくれて、毎日うれしい気持ちで登校できます。また、お母さんと、「幸田町には、やさしい人がたくさんいるね。」と話したことがあります。一学期に、学校の勉強でデイサービスの方と交流しました。あばあさんたちは、初めて会ったぼくたちに楽しく接してくれました。

今度は、ぼくが幸田町の人にやさしくする番です。そして、大人になったら、この町の人に喜んでもらえることができる人になりたいです。

自分の1票を大切にするために

私は、先日行われた子ども会議で選挙についていろいろ学びました。そこでは今まで知らなかった選挙の形が見え、多くのことを知りました。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことにより、私もあと4年で投票することが可能となりました。今回、様々な人と意見を交わし自分の考えを深めると共に、相手の考えを知ることもでき、とても勉強になりました。話し合う中で多く聞いたのが、「自分の意志を大切にする」という意見です。選挙は自分の意志を尊重できるものだと思います。将来私が1票を使えるようになったら、仲間にも選挙の重要性を伝え、よりよい幸田町、未来を創ることを目指し、自分の意志で投票できるようにしたいと思います。

絵：牧野次男さん（芦谷）

編集後記

今年の夏は暑かった。熱いといえば、ブラジルで開催されたリオオリンピックとパラリンピック。

国の代表として参加した選手の活躍が報道され、表彰台に立った選手の喜びや、立てなかった選手のくやしさが伝わってくる熱い日々でした。

2020年は東京での開催となり楽しみです。

また10年後には、夏季アジア競技大会が「愛知・名古屋」での開催も決まりました。

私たち「議会だより」の編集にたずさわる者として、みなさんに、見て・読んで・心に伝わるホットな紙面づくりに努めていきます。

今後ともご愛読いただきますようお願いします。

（伊與田伸吾）

あなたも議会を傍聴してみませんか

12月定例会の予定です。

●会期の日程

12月1日	（木）	開会、議案の説明
5日	（月）	一般質問
6日	（火）	〃
12日	（月）	議案の質疑
13日	（火）	〃
15日	（木）	福祉産業建設委員会
16日	（金）	総務教育委員会
20日	（火）	議会運営委員会
22日	（木）	討論、採決、閉会

●場　所　役場5階 議場
●時　間　午前9時から
●詳しくは議会事務局へ
TEL 63−5151（直通）

議会広報特別委員会
委員長　酒向　弘康
副委員長　大嶽　弘
委　員　水野千代子
〃　丸山千代子
〃　鈴木　重一
〃　稲吉　照夫
〃　伊與田伸吾
〃　足立　初雄
発行責任者
議　長　浅井　武光

発行／愛知県額田郡幸田町議会　編集／議会広報特別委員会
住所／〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1 TEL（0564）63-5151 FAX（0564）63-6970
幸田町ホームページ　http://www.town.kota.lg.jp/　Eメール　gikai@town.kota.lg.jp

この広報紙は地球にやさしい再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK